



地域の安全安心に役立ってます

小型動力ポンプ付軽消防自動車受納式(1月31日)



▶寄贈された軽消防自動車は阿山分団に配備されます。



伊賀市消防本部で小型動力ポンプ付軽消防自動車受納式を行いました。これは、(一社)日本損害保険協会から伊賀市消防団へ送られたものです。(一社)日本損害保険協会では、防災事業の一環として1952年から全国の市町村や離島に消防自動車の寄贈を行っていて、今年度を含め今までに2,835台を送っています。

今回寄贈された軽消防自動車は、伊賀市消防団阿山分団に配備され地域の安全安心に役立てられます。

▼学年別に崇広堂にちなんだ題材が出され子どもたちは真剣に取り組みました。

藩士の気分で

旧崇広堂書道展～藩士の気分で書道を楽しもう～
第1回 お習字しましょ!! (2月9日)



国史跡旧崇広堂で、小学生を対象に旧崇広堂書道展の第1回となる「お習字しましょ!!」を行いました。

講師の峠美晴さんは「筆で書くことは鉛筆で書くよりも難しいものです。筆の太さや字の形を考えて書くことが大切です。」と説明をしました。

作品ができあがると、子どもたちはどれが一番上手に書けたのかお手本と見比べたり、作品を満足そうに眺めたりしていました。

この日は小学生7人が参加し、およそ200年前の藩士の気分を味わいました。

子どもたちが書いた作品は、旧崇広堂で2月22日まで展示されました。



子育てへのアドバイス

青少年健全育成講演会 (2月9日)

精神科医で真生会富山病院心療内科部長の明橋大二さんを講師に招き、「見逃さないで!子どもの心のSOS」と題して講演を行いました。

講師は、子どもにとって一番大切なのは「自分は人から必要とされている」という自己肯定感を育てることだと述べました。また、子どもの心は甘えと反抗を繰り返していて、十分甘えを受け止めてもらえた子が自立することができるかと話しました。

この日は104人が参加し、講演の中から子育てのヒントを得ている様子でした。

▼子どもの自己肯定感を育てるためには、ほめてあげる、小さなことでもありがとうと言ってあげることが大切だと話す明橋先生





つく 勇氣と覚悟が未来を創る

第2次総合計画 基本構想最終案 答申(2月10日)

市では、平成18年度に基本構想と前期基本計画からなる最初の総合計画を、また平成23年度には後期基本計画を策定して、さまざまな施策や事業に取り組んできました。このたび岡本市長の施策の方向性を示すとともに社会経済情勢の変化なども踏まえた第2次総合計画の策定を進めるため、各種団体や公募、学識経験者など20人に委員を委嘱した、総合計画審議会(松崎壽和子会長)から、同計画の基本構想についての答申を受け取りました。

岡本市長は、「この総合計画をどう進行管理するかが大切です。市民の皆さんと協働して進めていきたい

▶岡本市長に答申を手渡す松崎会長



と思います。」と応えました。

松崎会長は、「市民目線で、熱い思いを持って審議ができました。実現すれば市民の皆さんにとってよいまちになると思います。」と話しました。

また、「今までの殻を破る勇氣と覚悟が、行政にも市民にも求めらるということを感じています。今までとは違う伊賀市へと進んでいってほしいと思います。」と、岡本市長が進める市政に期待を寄せました。

お知らせ拡大版

お知らせ

催し

募集

まちかどトピックス

コラム

図書・救急など



▲お母さんが車になって子どもを乗せ、体を左右に傾けてカーブを表現すると、子どもたちは楽しそうな声をあげました。



▲音楽に合わせて腕をぐるぐる動かします。

からだ動かすの楽しいな!

キラキラ・出前講座(2月17日)

上野南部地区市民センターで、子育て支援事業「キラキラ・出前講座」を開催し、5カ月から3歳の子どもと保護者の7組が参加しました。

講師の内海奈美さんの指導のもと、音楽に合わせて親子でふれあいながら体操をしました。

体操のあとは、子育て包括支援センターの職員によるパネルシアターを行いました。猟師から逃げてきた森の動物たちが、山小屋にいるおじいさんに助けを求めるといった話で、子どもたちは興味深そうに聴き入っていました。



▲子育て包括支援センター職員によるパネルシアターを楽しみました。

有料広告を募集します

広告の募集を行っています。掲載料は1枠(縦5cm×横9cm)2万円です。掲載を希望する号の2カ月前からお申し込みいただけます。広告に関するお問い合わせは、秘書広報課(☎22・9636)までお願いします。※掲載の広告について不明な点は直接広告主へお問い合わせください。

